

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立亀玉小学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・「2023 Aratama Plan」の実現に向けた学校支援活動の充実
- ・学校運営協議会の活動内容の周知

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・先生方からの教育目標や学校運営の基本的な事項、課題について説明を聞き、内容を確認・理解したうえで議論できた。
- ・内容確認や疑問点を質問するなどして学校運営についての理解を深めることができた。
- ・各委員と率直な意見、建設的な意見を述べることができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・学校の教育目標と学校支援活動との繋がりを意識し、協議（熟議）を重ねるごとに、より学校支援活動の必要性和拡大の大切さを深く感じるようになった。
- ・学校が求める人材や教材について知り、保護者の一人として子供たちに必要な支援について考える機会となった。
- ・活発な議論が行なわれ、学びの場である学校へと送り出す家庭やそれらを見守る地域、そして学校の役割分担が明確になってきた。
- ・実施した学校支援活動についての振り返りや反省も行えた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・学校運営協議会の会議録を本校のHPに、運営協議会の様子を学校便りに掲載することによって家庭や地域の理解が深まり連携や協力をすることができた。学校運営協議会の認知度は上がっていると思う。
- ・保護者には、協議会の活動内容を知ってもらえたと思う。しかし、どれだけ理解され賛同されているかは判然としない。また地域内に広く周知できたかという点でも、まだまだこれからである。
- ・HPを閲覧する方は極一部にならざるを得ない。亀玉小に限らず市内の学校運営協議会について、教育委員会からのお知らせとして広報等に活動紹介と支援活動への依頼を掲載する等のアクションをして、より多くの方に認知して頂ければ幸いである。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・情報発信や周知方法の工夫による地域の協力とボランティア数の増加。
- ・学校運営協議会への積極的な参画及び学校、家庭、地域の信頼関係の更なる構築、関係機関との連携。
- ・学校教育活動を充実させるために必要な分野の地域人材の発掘と積極的活用。